

もりや仙一郎県政報告

Vol.124



山形県×山形市 スポーツ、文化相乗効果で活性化へ 山形市中心部に 屋内スケート場 整備決定



県民ふれあい広場を活用

県は、新設の整備地を検討した「多機能型屋内スケート場」と「県立博物館（山形市）」について、どちらも山形市桜町の県民ふれあい広場（県立中央病院跡地）に山形城跡二ノ丸東大手門東側を中心とするエリアにする旨を発表しました。同事業は県と山形市が同じ目線に立ち、連動して整備するのが特徴で、まちづくりの理想の姿として注目されています。



本県の屋内スケート場は平成29年3月に閉鎖されてから、東日本唯一、フィギュアスケートと佐藤孝弘山形市長が、「新スポーツ施設整備の共同での検討に係る基本的な考え方に関する合意書」を締結し、以降、整備が期待される一方で、駐車場の問題なども懸念されます。

ケートやアイスホッケーの公式大会が開催できない状況にありまして、競技関係団体からは屋内スケート施設整備の要望をいただいております。近年は山形市内のいくつかの地区からスケート場の設置要望があったと聞きます。そして令和6年10月、吉村美栄子県知事や最上義光歴史館が隣接し、山形市は霞城公園内にある県体育館、県武道館を新たに同エリアに整備する考えも打ち出しております。今後、このエリアがスポーツ、文化の分野を牽引し、相乗効果を発揮する一大エリアへの発展が期待される一方で、駐車場の問題なども懸念されます。

山形県、山形市が共同の構想へ



理想のまちづくり

一連の施設整備事業の特徴は、県と市が同じ方向を向いて事業を展開していくことが挙げられます。今までは、土地が県のものでは、県の施設、市のものでは、市の施設を建設するというのが通常でありました。今回の施設整備事業は、協議の途中ではありますが、県と市が同じ目的を目指して事業を行うことになり、これは極めてめずらしいことです。利用する側は、同じ県民、市民です。吉村県知事、佐藤山形市長が県都山形を共同で作り上げていく姿は、理想のまちづくりだと思います。期待をしながら注視します。

新博物館は移転新築

霞城公園内に山形県立博物館があるのは、ご存知でしょうか？おそらく、小学校での遠足などで見学した記憶がある人はいるかと思いますが、もしかすると、その時にしか博物館に行ったことがないという方もいらっしゃると思います。現在の県立博物館は、昭和46年に開館し

体育館・武道館有する施設

山形市が新しく整備へ

た。また、県議会でも新博物館の重要性を訴える質問が多くなり、執行部が調査を実施してきました。県では新博物館の整備費用について、およそ133億円から151億円と試算しています。この巨額な規模の整備費は、山形駅西口ののまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）に匹敵する金額で新博物館にも期待が寄せられています。霞城公園内には現在、県体育館と県武道館もありますが、山形市は県に対して県立博物館と同様に霞城公園内からの移転を求めており、そのうえで体育館・武道館を新築移転する要望が県に対して上がっております。県においては、天童市の山形県総合運動公園内に総合体育館を設



山形県議会議員 もりや仙一郎

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい！ ココが問題！ 改善して欲しい…など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

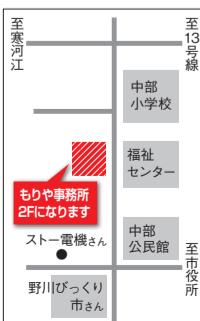
もりや仙一郎

検索

過去の県政報告はHPでご覧いただけます。 <https://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。

公式ホームページ



天童市のモンテディオ山形の専用スタジアム建設支援として、令和8年度当初予算に5億9,100万円が計上されました。建設費が、158億円と見込まれている中で、山形県と天童市が国の交付金を活用し、合わせて30億円の建設支援を予定しています。

悲願だったスタジアム工事が、いよいよ始まります。県民、市民としても期待が大きいものがあります。今後においても、スムーズな建設工事を期待いたします。

J2モンテディオ山形 スタジアム建設に予算化

